私のまちの地域支え合い情報紙

おげんきですか。

第10号
2020.3

美里町生活支援体制整備協議会／美里町・社会福祉法人 美里町社会福祉協議会

美里町のお宝を紹介します

～ 地 域 編 ～

暮らしの中のさりげない見守り・助け合い・健康づくりや介護予防など世代を問わない活動はたくさんあります。

地域づくりは おしゃべりの 積み重ね

つながることから
「気にかけあう」
「見守りあう」関係へ。
自然と「支えあう」関係
に発展するんだね！

いつもの集まりも
何気ない会話も
実はつながる基盤
なんだね！

その1 不動堂４区『おらほの秘密基地』

「なにってことなく、毎日みんなで集まってんのさ。」と話すのは、不動堂４区の木村邦夫さん。約９年前から、木村さんが所有するハウスの一角に行政区内外の気の合う仲間が自然と集まりだし、今では、ほぼ毎日この場所で仲間の誰かと顔を合わせます。

「狼煙(のろし)が上がっていれば誰かがいる合図。」との事で、訪れる時間帯によって居るメンバーも違います。気軽でほどよい関係は心地よく、秘密基地のようなこの場所が、メンバーのかけがえのない居場所となっています。

(不動堂４区行政区)

この狼煙(のろし)が合図
集うのに理由はいらない
それが男の生き方

その2 彫堂『一葉会』

「地域みんなで気兼ねなく、お茶飲み会がしたいね」とのつぶやきをきっかけに、平成 18 年 8 月に「一葉会」は発足しました。

現在は、毎月 1 日と 15 日(お盆と冬季はお休み)に、彫堂公会堂で活動しています。発足当時は、ものづくりや踊り・歌の練習など様々でしたが、ここ数年は純粋にお茶のみを楽しむことにしています。すると、自然とおしゃべりする時間が長くなり、メンバー間で気に掛け合う関係がより一層深まりました。毎月の元気確認を兼ねて、これからも一葉会では、お茶飲み会を楽しみます。

一葉会のみなさん
(彫堂行政区)

おしゃべりは地域を知る時間

おしゃべりの数だけ
深まる地域のつながり

※この日は、ボランティアでJAみどりの女性部の“ひだまりの会”さんがいらっしゃり、一緒に楽しい時間を過ごしました。

その3 成田『いどばたカフェ』

中埜 2 区行政区成田の『いどばたカフェ』は、毎月第一木曜日に成田集落センターで活動しています。

もともと「いどばた会」という、おもてなし型のお茶のみ会を長年行ってきましたが、ボランティアの高齢化等により継続が困難になりました。しかし、先輩方の想いを絶やしてはいけないと、約 10 年前から『いどばたカフェ』として持ち寄り型のカフェスタイルに変更しました。こうすることで、運営側と参加者という垣根もなくなり、準備等の負担もなくなりました。今では、地域みんなの憩いの場です。

いどばたカフェのみなさん
(中埜 2 区行政区)

先輩方の想いをつなぐ

時代に合わせたみんなに
優しいカフェスタイル

美里町のお宝を紹介します

～福祉事業所編～

美里町には、地域の一員として地域づくりに参画している事業所がたくさんあります。

NPO 法人　グループホームよつば荘

～この日は、みんなで福笑い～

～青い山脈の歌に合わせ楽しく体操～

～みんなで脳トレと口腔体操～

NPO 法人よつば荘は、平成 17 年 4 月に設立し、介護保険事業のグループホーム(認知症対応型共同生活介護)を運営しています。代表の高橋多喜子さんは、グループホームならではの家庭的な雰囲気の中で、利用者さんと地域のつながりがある暮らしを大切にしています。その取り組みのひとつとして、毎月第 3 金曜日に**『スマイルカフェ』**(上記写真)を開催しています。

『スマイルカフェ』は、利用者さんも地域の方も職員も分け隔てなく、みんな笑顔でつながる憩いの場となっています。職員によるレクリエーションでは、マジックショーやリハビリゲーム、時には利用者さんとつくる「よつば荘劇団」の寸劇など毎回工夫を凝らした内容でカフェを盛り上げています。

また、地域の方によるひらめきの時間では、脳トレや口腔体操などで積極的に介護予防に取り組み、みんなで健康寿命の延伸に努めています。

交流の場を通し、利用者さんが地域とつながるきっかけになるだけでなく、地域の方が認知症への理解を深めるきっかけにもなっており、おたがいさまの地域づくりは一歩一歩前進しています。

「スマイルカフェ」は、毎月第 3 金曜日にグループホームよつば荘にて開催しています。地域の方のご参加、お待ちしています。

【連絡先】

〒987-0005　美里町北浦字船入 2 番地 61

電話：0229-32-5653　FAX：0229-32-5672

代表者：高橋多喜子

令和元年度地域福祉力UP情報交換会

を開催しました。

町内には、小地域を単位とした 16 の地区社会福祉協議会(以下、地区社協)があります。各地区社協は、地域住民や自治会・区会、民生委員、ボランティア、関係団体等の幅広い参加と協力を得て活動する住民組織です。地域のことについて話し合いなどを行う協議会としての役割と、気にかけあう見守りあいやお茶飲み会などの活動を通して、地域のつながりづくりやおたがいに支えあい安心して暮らし続けられる地域づくりを目指して活動しています。

各地区社協では平成 25 年から、地域内の福祉・生活課題の把握など、さまざまなテーマで話し合いをする地域福祉力ＵＰ情報交換会を開催しています。今年度は、「地域のお宝再発見！」をテーマに開催し、地域のお宝(ふだんのくらしの中で紡いできた地域のつながりや伝統、文化等)について理解を深め、地域内にはどんなお宝があるか情報交換を行いました。

地域のお宝を探す過程から、いつもの活動が見守りや介護予防、そして生活支援等の支えあいの関係づくりの基盤になっていることを再確認するとともに、改めて自分たちのくらす地域の良さと、今後も守り伝え続けたいことを再確認する機会にもなりました。

※地域福祉力 UP 情報交換会での話し合いから再発見された、たくさんの地域のお宝の中から 3 つのお宝を「美里のお宝大発表会」(次ページ記載)で紹介予定です。

令和元年度美里町生活支援体制整備協議会啓発事業　地域福祉力 UP 情報交換会報告会

「美里のお宝大発表会」

～おたがいさまの支えあいが未来を拓く！～

開催のお知らせ

私たちの日常の暮らしの中には、普段何気なくおこなっていることが、実は「つながり・支えあい」の根幹になっているものがたくさんあります。今年度開催した地域福祉力 UP 情報交換会では、小学校区単位に地域内の『お宝（社会資源）』について改めて「どんなひと・こと・ばしょ・つながり・支えあい」があるかなど、話し合いを通して把握（可視化・情報共有）しました。このような暮らしの中にあるつながりを地域の『お宝』として捉え共通認識するとともに、より一層おたがいさまの支えあい活動の充実と活性化を図ることを目的に開催します。

日　時：令和 2 年 **3** 月 **10** 日(**火**)午後 1 時 30 分～午後 3 時 45 分
場　所：美里町駅東地域交流センター　多目的ホール
内　容：[第一部]
基調講演「地域のお宝が未来の美里を支えていく」
講師　志水 田鶴子 氏 ／ 仙台白百合女子大学准教授
☆地域のお宝がもたらす未来への効果とこれからの支え合いの地域づくりに必要なものについて学びます。
[第二部]
ライブトーク：「美里のお宝 大発表会」
☆地域福祉力 UP 情報交換会での話し合いから再発見された、地域のお宝を紹介します。
対　象：美里町にお住まいの方
申込み：美里町社会福祉協議会へ電話・FAX 又はメールにてお申込み下さい。

私のまちの地域支え合い情報紙「おげんきですか。」

表紙の写真：橋崎助雄さん、木村清男さん(福ヶ袋行政区)

発　行　日　　令和２年３月１日
発行・編集　　美里町生活支援体制整備協議会　【 美里町・社会福祉法人美里町社会福祉協議会 】
〒987-0038　宮城県遠田郡美里町駅東二丁目 17-4　(美里町駅東地域交流センター内)
TEL：0229-32-2940　FAX：0229-32-5160　E-mail:misato@misato-wel.com